学校番号	２０２

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ⅱ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「新編　数学Ⅱ」　（実教出版）						
副教材等	ラウンドノート　数学Ⅱ　（実教出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業は主に，ノートやプリントを用いて行います。授業で使うノートを用意してください。
・授業は「解説を聞く→解説を基に自分たちで問題を解く→答え合わせをする」という流れで行います。問題を解く際には，自ら考え、周りの人と協働で考える活動をします。
・家庭学習では，問題集の問題をまず自分で解いてみよう。途中式や考え方も書いてください。その後，必ず答え合わせをしてください。間違った問題は放っておくのではなく，必ずノートなどにやり直しをしましょう。自力で解けるまで，何度でもやり直してください。
・考査ごとを目安に問題集などの課題を課します。しっかり学習し，提出してください。

2　学習の到達目標

指数・対数関数、微分・積分についての基礎的な知識や技能を習得します。また、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにします。さらに、それらを活用する態度を身に付けることを目標とします。

（１）　指数・対数関数、微分・積分についての基本的な概念や原理や法則を理解し、事象を数学的に捉え、表現、処理する技能を身に付ける。
（２）　数式、グラフ、図形などの関係を理解し、事象を数学的な考え方で分析したり、表現する。
（３）　数学的な考え方のよさに気づき、自らの思考過程を振り返りながら、粘り強く問題解決に取り組む。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	指数・対数関数、微分・積分における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身に付けている。また事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、指数・対数関数、微分・積分における数学的な見方や考え方を身に付けている。	指数・対数関数、微分・積分の考え方に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	指数関数・対数関数	指数の拡張 指数関数 対数とその性質 対数関数	a:指数法則、対数の性質などを用いて、値を求めることができる。 b:累乗根をグラフによって理解する。 指数、対数の定義から、対数の性質を考察することができる。 c:指数と対数の相互関係に興味、関心を持つ。	定期考査 問題集 ノート	定期考査 問題集 ノート	観察 ワーク シート
2学期	微分法と積分法	平均変化率と微分係数 導関数 接線の方程式 関数の増減と極大・極小 方程式・不等式への応用 不定積分 不定積分の計算 定積分 定積分の性質	a:平均変化率、微分係数、導関数の定義を理解し、求めることができる。 不定積分、定積分の定義を理解し、値を求めることができる。 b:微分係数の図形的意味を理解している。またそこから接線の方程式の公式を考察することができる。 微分法の逆演算としての不定積分を考察することができる。 c:関数の増減や極値を導関数を用いて調べようとする。	定期考査 問題集 ノート	定期考査 問題集 ノート	観察 ワーク シート
3学期		定積分 定積分の性質 面積	a:定積分の定義を理解し、値を求めることができる。 b:定積分を理解し、図形の面積を求めることができる。 c:面積が定積分であらわされることに興味、関心を持ち調べようとする。	定期考査 問題集 ノート	定期考査 問題集 ノート	観察 ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度